



仲よく やりぬく たくましい子

令和3年(2021年) 10月1日発行 文責 校長 土永 晶

緊急事態宣言が解かれ、10月からは感染予防対策を取りながら、徐々に計画していた教育活動を実施していきます。子どもたちは、制限があるなかでもルールを守り、楽しい学校生活を送っています。その姿を見ていると、我々教職員も「なんとか工夫しながら、様々な教育活動を行いたい」という強い気持ちになります。6年生の修学旅行は、市内小中学校とも、宿泊を伴わない日帰りの研修となりました。緊急事態宣言が出されていない時期に、近畿圏内でバスを利用した研修になります。子どもたちの命と健康、安全を守るための結論です。ご理解いただきますよう、お願いいたします。場所や日程等は調整中です。思い出に残るすばらしい修学旅行となるように計画したいと思います。

聞くと効く

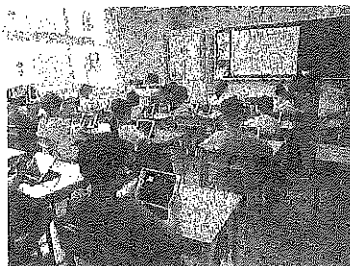
9月は、子どもたちが夏休みのことや今頑張っていることをいっぱい話してくれました。話したそうにしているが、他の人がいるところでは話にくい子もいる。そっと離れた場所にいくと、いろんな話をしてくれる。安心したのか、スッキリした顔でまた友だちのところに戻る。大人でもそうだが、話を聞いてくれるだけで安心したり、次頑張ろうと思えたりするものだ。それに対する助言はいらない。そっと聞くだけでいい。小中学生の子どもは、ちょっとした話でも聞いてほしい時期である「そうなんや」「すごいね」「あなたなら大丈夫」「失敗ってないからね」と返している。いっぱい話をして、笑顔で走り去る子どもたちを見て、なるほど、「聞く」と「効くんだ」と思う。ご家庭でも引き続き、子どもの話をしっかり聞いてあげてほしい。校長室では、職員や保護者、地域の方のお話を私がしっかり聞くようにしている。学校・保護者・地域（関係機関）が連携して子どもたちを育てていきたい。

朝、昇降口前を掃除していると、子どもたちから「おはようございます。掃除ありがとうございます。」と声をかけてくれる。昼休み、給食配膳室で食器を返却してくる際に、「ありがとうございます。ごちそうさまでした。」と言ってくれる。それも、一人や二人ではない。私が子どもたちに元気を与えないといけなのに、元気をもらった。こんな雰囲気のある学校、とても素晴らしい！ご家庭や担任の先生からいろんな話をいただいているのだろう。掃除やプランター花の世話にも自然と力が入る。子どもたちのためなら何でもできる気がした。「ありがとう！」大人にも子どもにも、ステキな言葉だ。

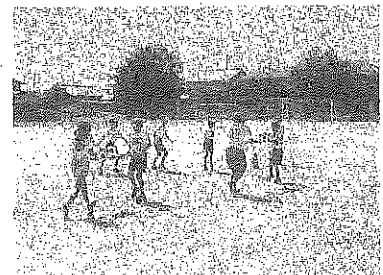
様々なことがうまくいかないときに、ふと思いつく言葉がある。壺井栄さんの小説「岸うつ波」で主人公の女性が祖母から言われた言葉が、ある記事で紹介されていた。『なにをまくよくよすることがある。……突きとばされて転いたら、ついでにひとりで起きあがって歩くところを見せてやりにやいかん。』なかなかできないことであるが、なにくそと思って頑張らないといけないう時もある。コロナ禍での生活。今までに経験したことのない試練があるが、相手を思う気持ちを大切に、皆で協力しながらこの状況を乗り越えたいと願う。



1年音楽（リズム学習）



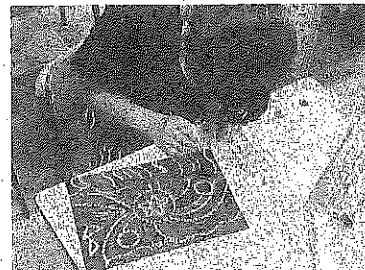
2年国語（タブレットで課題を提出）



3年体育（楽しい応用走）



4年国語（書写）



5年図画工作（アボリジナル・アート）



6年家庭科（クリーン大作戦）

教育活動に関するアンケート結果 (ご協力ありがとうございました)

Webによって実施した教育活動に関するアンケートの集計結果をお知らせします。上段が児童、下段が保護者の評価です。(数字%は「A:そう思う」「B:だいたいそう思う」の合計です。)

学校評価前期(児童)

1 勉強中は、先生の話や友だちの話をしっかり聞いている。	96%
2 宿題は、忘れずにやっている。	96%
3 人が集まる場では、静かにならんだり、話を聞いたりしている。	84%
4 進んで発表している。	67%
5 進んで自主学習に取り組んでいる。(塾での学習、文化・運動の習い事等を含める。)	51%
6 学校や家でいろいろな本を進んで読んでいる。	73%
7 思いやりの気持ちをもってだれにでもやさしくしている。	86%
8 毎日、朝ごはんを食べている。	89%
9 「おはようございます」「さようなら」などのあいさつや返事をしている。	93%
10 たてわり活動や全校的な行事では、(低中)協力して、(高)自分から進んで、活動をしている。	92%
11 そうじをがんばっている。	93%
12 わたしには、がんばっているところやよいところがある。	92%
13 先生は、勉強でわからないときはいねいに教えてくれる。	95%
14 先生は、いけないことをしたとき、きびしく注意してくれる。	91%
15 (低)がっこうでは、おにいさんやおねえさんがやさしくしてくれる。 (中)高学年の人たちは、学校が楽しくよくなるようにがんばってくれている。 (高)下級生をリードし、学校生活がよくなるようにがんばっている。	89%
16 学校では、藤樹先生の生き方や考え方を取り入れた生活をおくれるよう先生から話をしてもらっている。 (あいさつをすることや人に感謝の気持ちを持つなど)	91%

学校評価前期(保護者)

1 お子さん達は、学校の学習がわかり、楽しく勉強している。	96%
2 お子さん達は、学習用具など忘れ物をしないように努めている。	94%
3 お子さん達は、自主学習や宿題などの家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	79%
4 お子さん達は、進んであいさつができる。	81%
5 家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」のような基本的な生活習慣定着に努めている。	97%
6 家庭では、子どもに読書の習慣が身につくように努めている。	37%
7 家庭では、家事の手伝いをさせたり、自分のことを自分でさせたりしている。	88%
8 家庭では、子どものよいところをほめている。	94%
9 学校は、子どもに確かな学力をつけるために努力している。	95%
10 学校の様子が学校だより・学級通信・保健だより等でよくわかる。	94%
11 学校は子どものことについて相談しやすい。	88%
12 PTAとの連携取り組みである「一家庭一家訓」を家庭で実践している。	78%

<考察>

★児童の回答から★

・「進んで発表している」「自主学習に取り組んでいる」「進んで本を読んでいる」にやや課題が見られます。発表ができなくても、自分の考えや思いをもつことが大切です。しっかりと考え、自分の意見をもたせる機会をつくります。また、課題を工夫するなど、自ら進んで学習に取り組めるように、子どもたちの自立を促せる取組を進めます。

◆保護者の回答から◆

・昨年同様、「家庭では子どもに読書の習慣が身につくように努めている」に課題が見られます。先月号でも紹介しましたように、読書の重要性は様々なところで実証されています。文字をしっかりと読ませて、じっくり考え自分の気持ちを表現することが学ぶ力向上につながります。大人自らも読書を楽しみ、子どもと一緒に本を読む時間が少しでもとれればと願います。

10月の主な行事予定

- 1日(金)ミニ集会 ふじ太鼓鑑賞(1~3年)
- 4日(月)発育測定(1,2年)
- 5日(火)発育測定(3,4年)
- 6日(水)発育測定(5,6年)
- 8日(金)やまのご学習(4年) ひびきあい活動(3年)
- 11日(月)クラブ活動
- 12日(火)校外学習(5年) 琵琶湖博物館
- 22日(金)やまのご学習 予備日
- 25日(月)委員会活動
- 28日(木)マラソン大会
- 29日(金)マラソン大会 予備日

PTA正副委員長会・代議員会